

白鳥の姿に驚かされた

木原茂喜

湖西中学校 2年, 520-1533 滋賀県高島郡新旭町安井川295-10-6

今から五年前のことです。1997年2月7日の夕方曇りでした。車で湖岸を通っていたら、車窓から白い大根のようなものがはっきり見えました。「ああ白鳥だ、白鳥じゃないか、わあ素晴らしい」と言いました。62羽もの白鳥が一行となり泳いでいました。つまり、初めて白鳥と出会った印象は、「ああ白鳥だあ」というところからはまっていきました。このとき白鳥を見た感激は忘れられません。こんな琵琶湖なんかには白鳥が来るはずがないと思っていました。北海道しか来ないんじゃないかなと思っていたのです。

そして、いろいろと白鳥のことを研究していこうと思ったのです。琵琶湖にはコハクチョウが来ることを知りました。その後、多くのコハクチョウを見るために、湖北野鳥センターに初めて行きました。1998年11月3日のことです。

水田にコハクチョウの群れが数百羽も集まっているのです。そのとき見た記憶は、素晴らしいものとなって残っています。

今は2001年です。琵琶湖のコハクチョウを見ていると感動します。華麗な姿のコハクチョウが僕たちを迎えてくれるような感じがします。2メートルもある大きな翼とくちばしの部分がシンプルではありますが、その姿を見せてくれることによって心が暖かになってきます。

Shigenobu KIHARA, Encounter with tundra swans on Lake Biwa.